

山本 均（やまもと ひとし）

北陸人材ネット代表取締役社長

1962年生まれ モットーは「NO SKI NO LIFE」 金沢大学法学部卒

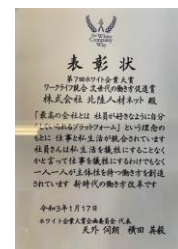
企業の人事（3社、20年）勤務を経て2007年に同社設立。同社は有料職業紹介事業、人事・教育コンサル、コーチングなどを行う。

現在社員は5名（山本以外は全員女性、1名育休中）

2008年－2015年北陸先端科学技術大学院大学キャリアカウンセラー兼務

2009年－2019年金沢大学就職支援室長兼務

- ・ 2017年北陸の企業で初めてテレワーク先駆者100選に選出
- ・ 2018年金沢市「働く人にやさしい企業」に選出
- ・ 2021年第7回ホワイト企業大賞特別賞選出
- ・ 2021年地方創生テレワーク推進運動に参画
- ・ 2021年第4回WOMAN's VALUE AWARD特別賞受賞
- ・ 2021年第22回テレワーク推進賞(奨励賞)受賞



当社の主なワークルール

- ◆フルリモート勤務・・・原則出社不要です。
- ◆フルフレックス制度・・・営業日は5時—22時の時間で好きな時間に勤務可能、最低1時間働けば勤務になります。3か月単位で所定の労働時間満たしていればOK
- ◆時間単位の有給取得可・・・1時間単位で有給休暇申請可能。
※3か月の清算期間に労働時間が足りていない場合は有給で充足可能
- ◆ワーケーション手当・・・ワーケーションの旅費と宿泊費を会社で負担(5万円/年)
- ◆リモート手当・・・在宅勤務者に4000円/月支給
※リモート手当支給者は通勤手当なしです
- ◆時短勤務制度・・・1日の所定労働時間を短く設定可能
- ◆副業OK・・・一定量以上取り組んだ場合は報奨金支給（自己申請）
- ◆女子会手当・・・月に1回社員がどこかで集まって仕事するのに出す手当
- ◆越境学習を推奨・・・仕事以外の夢中を会社として推奨（ワーケーション、副業、趣味、仕事以外の自己啓発などに助成金、報奨金を支給）

そもそも・・・

- 当社の仕事の成果は労働時間になんの関係もない（いや、一応対外的に営業時間はあるけど・・・）
- 皆決まった時間（通勤時間とか週末とか）に行動して混雑するのが不思議ではしかなかった・・・
- やりたい事をやりたい時間にやりたいようにやった方が楽しいし、仕事だってその方が効率よいし、成果もあがるんでは??



時間と場所と働き方をできるだけ各人にゆだねてしまおう
（社員の移住問題をきっかけにどんどん進化して今の姿に）

敏腕コンサルさんの日常



- ・ 7時くらいに20分程度メールチェック、朝食と子供の送り出し後9時-16時くらいまで仕事。
 - ・ 20時までは家族との食事と家事。
 - ・ 20—21時にオンライン面談とメールチェック
- ※時々15時くらいから野球部に入部した次男とキャッチボール

当社の裏番(笑)
営業責任者、大学
3年、中学2年の子
育て中(長男は今
年社会人)

2021年夏、フルリモート社員のある1日

- ・ 6－10時、家業（漁師）の手伝い（船からの昆布を受け取って天日干し）
- ・ 10－12時、自宅でテレワーク。
- ・ 14－15時、家事の手伝い（干した昆布の取り込み）
- ・ 15－16時、副業のコミュニティ運営グループのオンライン打合せ
- ・ 16－19時、自宅でテレワーク
- ・ 19－21時、夕食準備 & 片付け
- ・ 21-22時、自宅でテレワーク



2020-2021年マレーシアに海外移住その後、
2021年4月－8月
夫の実家の北海道浜中町で夫の家業（漁師）を手伝いながらフルリモートワーク
産休、育休を経て札幌市よりテレワーク中

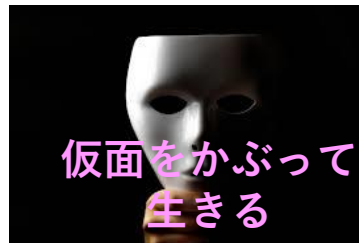
北陸人材ネットという船で一緒に旅をする仲間

- 皆が自分らしく働ける環境を創ることが経営者の仕事
- その中でお互いの得意と不得意を補完しあう
- チームとしての成果と「ありがた」にはこだわるけど「やり方」にはこだわらない

「ねばねば」でなく「わくわく」で生きよう・働こう

「ねばねば」・・・あらねばという義務感で生きる
親の期待に応えねば
上司の期待に応えねば
良い上司であらねば・・・

受動的行動
外発的動機付け



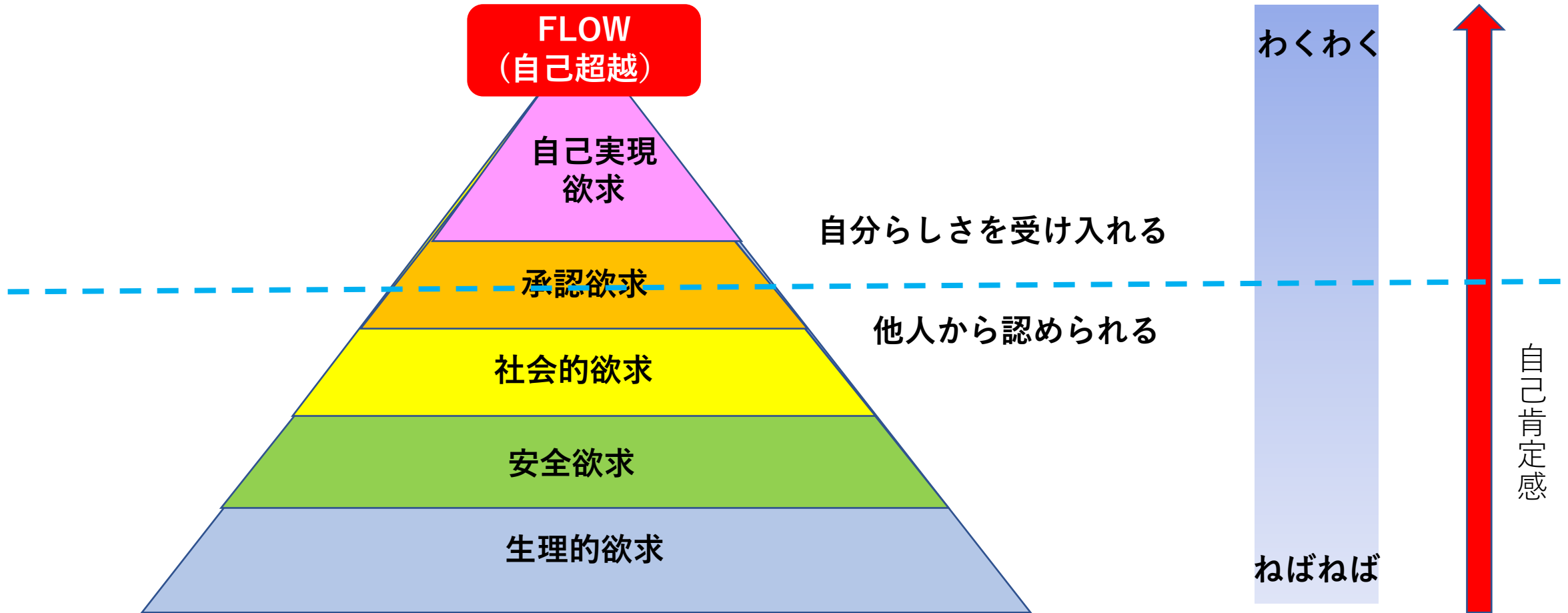
枠に縛られた「ねばねば」でなく、
枠を外した「わくわく」で
生きよう



「わくわく」・・・やりたい事をやりたいようにやる
やっていて楽しい
夢中になって時間を忘れる
わくわくが止まらない・・・

自律的行動
内発的動機付け

マズローの欲求段階説とねばねば、わくわく



「夢中」は「努力」を凌駕する！！

「仕事」だけに夢中なんて無理だし、それは
おそらく周囲にとって迷惑かも・・・（ワーカホリック??）
自分の人生に夢中になれる場を
「会社」というプラットフォームで作る

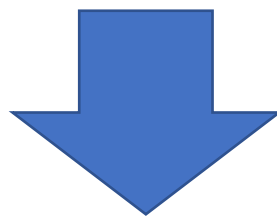


自分のわくわくに向き合ってどっぷりはまっている人を
「ヘンタイ」と名付けています。
「ヘンタイ」な人たちが自分のわくわくにどっぷりはまっ
て働ける状態を自ら創りだす！！

「人に言われてやる仕事」 < 「自分のやりたい仕事」

マインドを変えよう！！

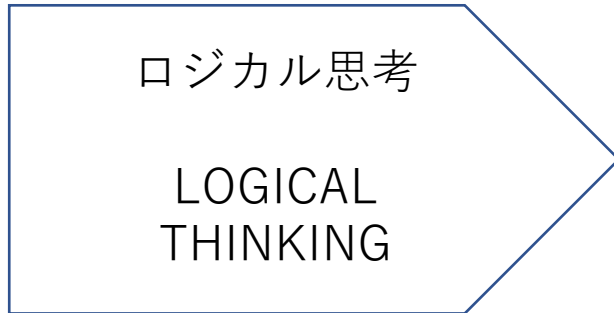
良い会社（という正解さがし）をめざすのはやめて、
社員一人一人が素敵な人生が送れるプラットフォーム（自分にとって最高の会社）を作ろう。



皆が「わくわくワークライフ」を実感できる唯一無二の場所を創ろう

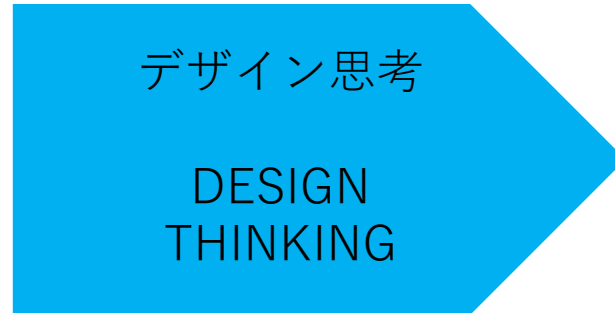
ビジネスにおける ロジカル→デザイン→アート 「思考」の変遷

2000年頃



顕在課題
論理/定量

2010年頃



潜在課題
共感/定性

2020年頃



自分起点
体験



どんな仕事紹介する??

2000年頃

2010年頃

2020年頃

※思考が変化したというより思考がかぶさってきた印象かなあ



年代別性別で分類
しリサーチしよ
う！

どんな仕事が良い
のか？
観察してみよう！

自分の働きたい会
社を勧める！

いびつな自分に出会い直す

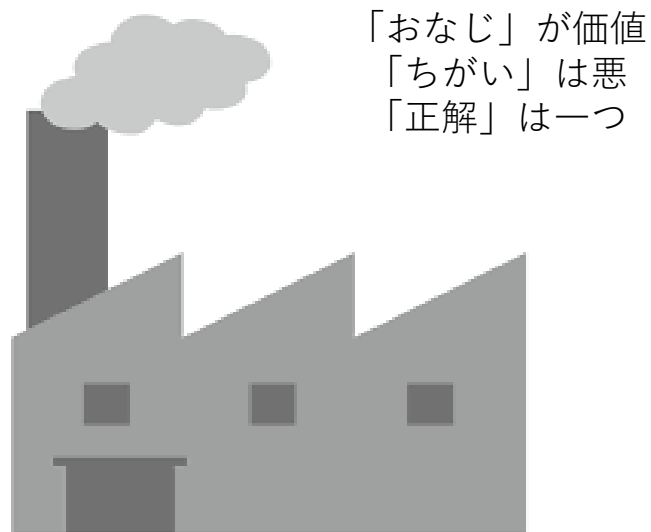
一個の肉体の中で、人間は生まれた瞬間からはぐれているんですね。そのはぐれている自分とでくわすことです。

子供というのは、欲望がいっぱいあるし、感情だけをささえに生きているために、できるだけはぐれたものにあおおうとする。ところが大きくなるにしたがって、自分のはぐれているものをおろそかにして、他人との約束ごとに自分を順応させる。それではぐれていない、と過信してしまう。飼いならされてしまうわけです（土方巽）

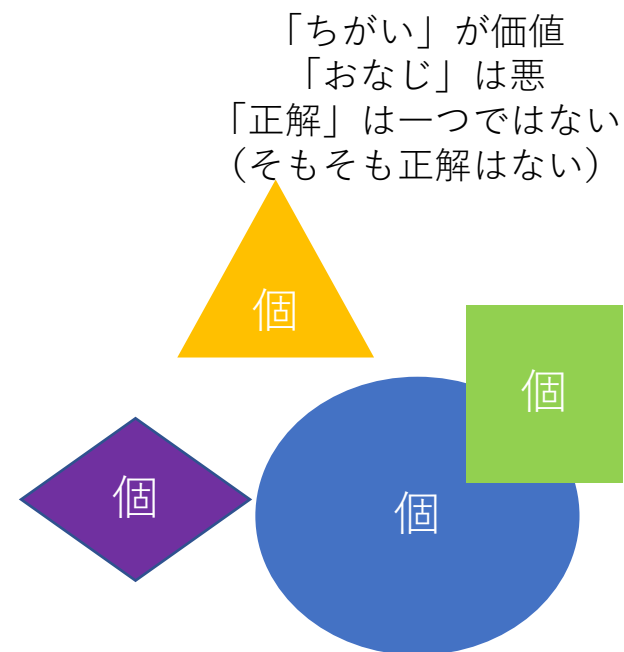
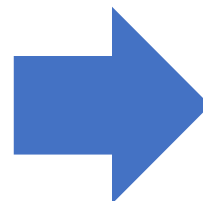
土方 巽（ひじかた たつみ、1928年3月9日 - 1986年1月21日）は日本の舞踏家、振付家、演出家、俳優。暗黒舞踏の創始者として国際的な知名度の高い舞踏家である。（ウィキより抜粋）

いびつな自分らしく生きることがわくわく生きることでは？

「工場のパラダイム」と「アートのパラダイム」



工場パラダイム



アートパラダイム

VUCA (ブーカ) の時代

(「Volatility(変動性)」「Uncertainty(不確実性)」「Complexity(複雑性)」「Ambiguity(曖昧性)」の頭文字をとった言葉。)

は「アートのパラダイム」が主流に・・・

※日本企業は相変わらず正解探しのパラダイムが主流・・・

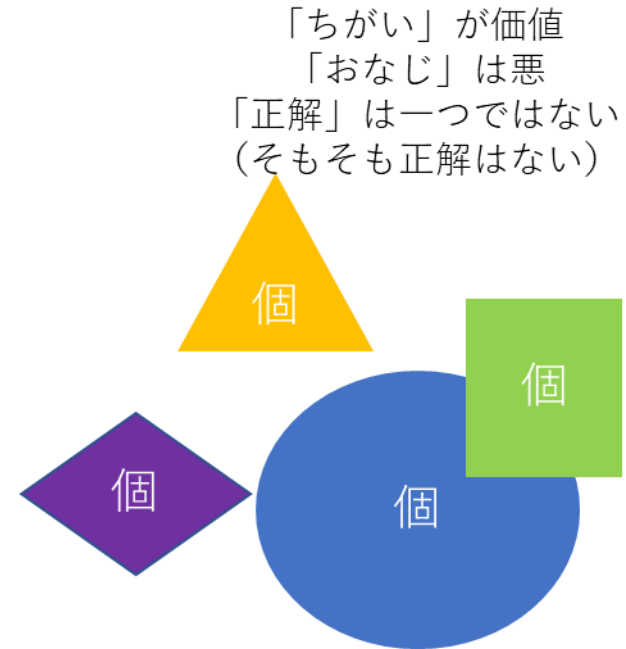
わくわく働ける会社って中小企業の ほうが実現しやすいのでは？



「おなじ」が価値
「ちがい」は悪
「正解」は一つ

工場パラダイム

大企業の人材パラダイム
組織が大きくなると一定の「同
じ」がないと維持できない！！

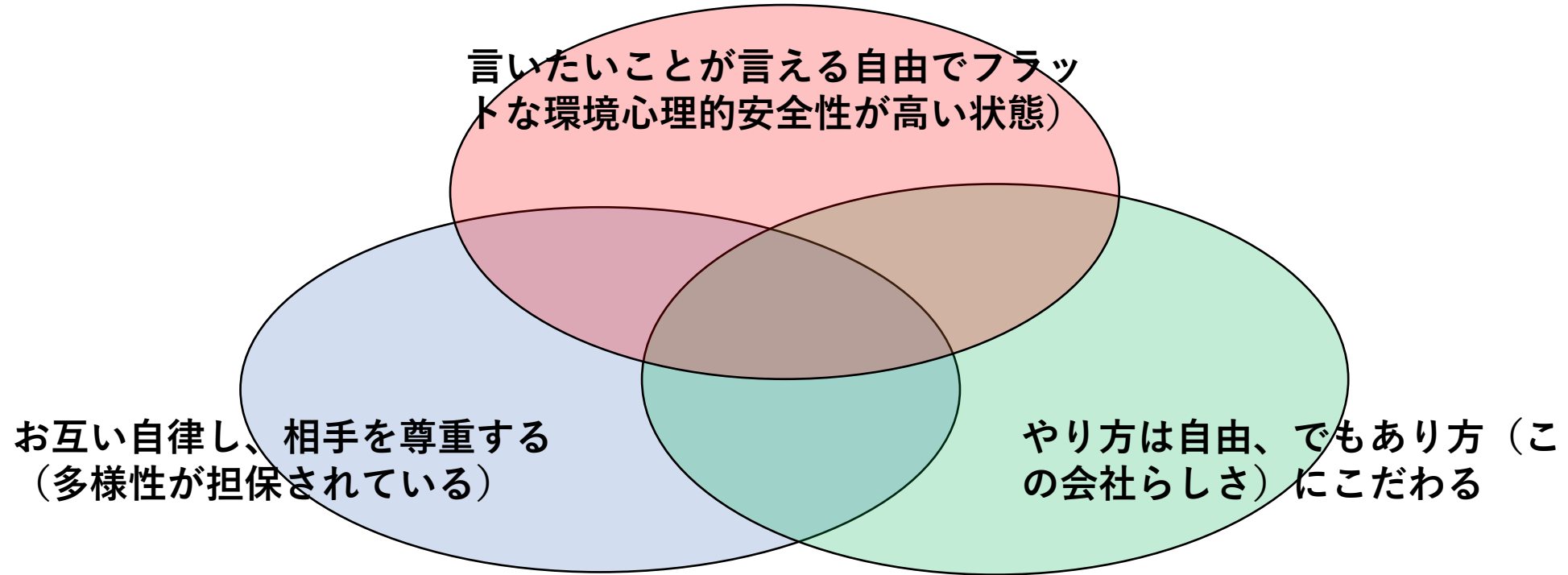


アートパラダイム

中小企業の人材パラダイム
「いろいろなわくわく」の会社が
あったって全然OKだし、
それに共感する人が集まればOK

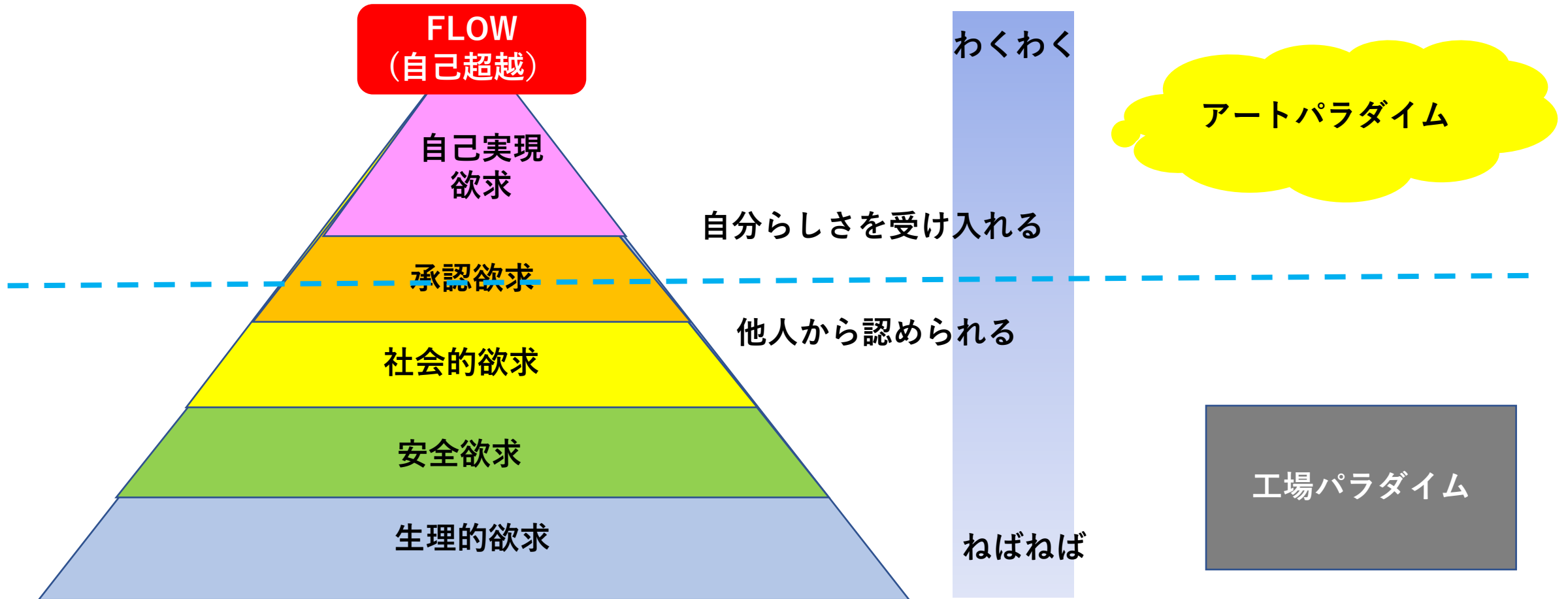


わくわく働ける会社って



お互いの強みでお互いの弱みを補完する
しなやかでサステナビリティのある組織に

わくわく人材はアートパラダイムとマッチしやすい



地方から「女性の働く」を変えよう！！

私たちはテレワークという手段を通して
地方から「女性の働く」を変えていきたいと思っています。

ライフステージにあった働き方を自律的に選択できる場を提供し、わくわくできるライフとワークを送る女性を地方に増やします。

テレワークで地方で働く女性を元気に！！